



## 2024.2.21 新春セミナー開催

令和6年2月21日日本教育会館第5会議室にて新春セミナーを開催しました。

第一部の経営者セミナーでは、専務理事 谷口より「2024年問題」の概略を説明し、その後、「2024年問題に合わせた具体策について」株式会社エコワスプラント 代表取締役 浅尾洋和氏、株式会社タケエイ 営業本部東京営業部配車グループ長 玉澤政敏氏に、それぞれの企業での取り組みをご説明頂きました。どちらの企業も時間の管理を徹底して行い、独自の工夫が見られました。



続いて、脱炭素経営に関する「今日から始める脱炭素経営」を株式会社三井住友銀行サステナブルソリューション部シニアサステナビリティエキスパート 清水倫様、「資源循環（サーキュラーエコノミー）を起点に脱炭素経営のヒントを探る」を株式会社三井住友銀行サステナビリティ企画部 小野寺友基様にそれぞれお話し頂きました。清水様は、脱炭素経営に取り組む必要性、メリットを最初に説明し、具体的にどのように進めたら良いか、CO2排出量の算定方法等をご解説頂き、三井住友銀行様が提供するCO2排出量算定支援ツール「Sustana（サスタナ）」をご紹介頂きました。小野寺様はサーキュラーエコノミーの政策動向の説明から始め、自給率の低い日本は、多くのリスクを抱えており、早期に取り組むことの重要性をお話し頂きました。また、今後この分野に関する市場規模の拡大が見込まれ、ステークホルダーの関心が高まり、サーキュラーエコノミーを起点に他社との差別化に繋げている企業も多くなっている、とのことでした。



次に、当組合の支部・部会・各委員会から、メンバー紹介や活動目的、今年度の活動実績等の発表を行いました。他の支部・部会・委員会の活動内容は、知らないことも多く、興味深い発表の場となりました。そして最後に、共同購買先企業の皆様よりプレゼンをして頂き、第一部は終了致しました。

第二部は賀詞交歓会を喜山倶楽部で行いました。理事長の挨拶、日建連副産物部会副部会長の新井さまの乾杯で始まり、日建連の方々、新組合員の紹介が行われ、終始賑やかに執り行われました。

賛助会員の皆様や共同購買取引先の皆様にも多数参加頂き、最後に加瀬理事の中締めで、散会となりました。

今回、能登半島地震の義援金を集めました。組合員のエスアール・コトブキ環境・東明興業・ワイエムエコフューチャーをはじめ、エイシン・大久保興業・北関東環境開発・クロダ・光洲産業・日成ストマックトーキョー・三島谷興産・苫小牧清掃社他、賛助会員、共同購買先、組合員個人の方々から募金いただき、組合からと併せて100,000円が集まりました。

皆様にご協力いただきました義援金は、新潟の上越市、長岡市へ50,000円ずつ寄付いたします。

## 組合からのお知らせ

組合では、共同購買で軽油ガソリンが加わりました。また、新たに共同購買のカタログを組合員専用ページに載せています。まだ、全部ではないのですが、順次追加してまいります。

4月6日から全国春の交通安全運動が始まります。組合も同時期に交通安全運動を実施しますのでご協力お願いいたします。

今年の基礎講習会は、昨年内容で変更がないとのことでしたので、同じ内容のものを1か月WEBにて掲載します。いつでも何度でも視聴できますので、是非、ご活用いただき、終了後はアンケートをお送りいただけますようお願いいたします。（追ってご案内をメールにて配信いたします。）



**2024年  
春の交通安全運動実施中**  
4月6日(土)~15日(月)

- 1 交通弱者の  
輸送に注意!
- 2 自転車・キック  
ボードは生体  
しない!
- 3 黄色は  
止まれ!
- 4 横断歩道が見え  
たら、一時停止
- 5 死傷に歩行者が  
いないか確認!

KENPAIKYO 建設廃棄物協同組合

